



市政 PICK-UP

異文化交流で奏でる音楽

2月24日、シンフォニア岩国で「IWAKUNI 日米交流合同コンサート」が開催されました。

このコンサートは、音楽を通して日米の友好を育むことを目的に毎年行われているもので、米海兵隊岩国航空基地の児童生徒と基地周辺市町の学校に通う児童生徒の約200人が出演し、市内から高森小学校と灘中学校が参加しました。

ポップスやジャズ、マーチなど幅広いジャンルの音楽を合

IWAKUNI 日米交流合同コンサート

唱・演奏し、観客たちは曲調に合わせて体を揺らしたり手拍子をしたりして楽しめました。指揮者である先生が思わず踊りだす場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

出演した児童生徒は「アメリカの学生と交流できて良かった」「このような機会に巡り合えて嬉しい」と話し、音楽を通じた異文化交流を楽しんだ様子でした。

■基地政策課 ☎ 5024
学校教育課 ☎ 5204



▲演奏後のインタビューで「楽しかった」と話す生徒



五橋の美しさを世界へ

2月15日、昨年末に公募していた錦帯橋ロゴマークの発表と表彰式が市役所で行われました。

このロゴマークは県や市、関係団体から構成された錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会が、錦帯橋の知名度を高め、親しみを育てるマークを決定しようと公募していたもので、国内外から447点の応募がありました。審査の結果、最優秀賞を受賞した市内在住の柳本芳亮さんは「岩国で生まれ育った自分にと



▲最優秀賞を受賞した柳本さん（右）。ロゴマークは白地のものと茶地のものがある

錦帯橋ロゴマーク決定

って、錦帯橋は心のシンボル。その魅力や橋の均衡美を表現したいと思った」と話しました。ロゴマークは、観光ポスターやのぼり、グッズなどに活用されるほか、申請により皆さんも使用することができます。詳しくは協議会のホームページを確認してください。

<http://kintaikyobridge.jp/>
 錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会事務局（錦帯橋課内）
 ☎5107



▲三本線からなる波形は、岩国から世界へ錦帯橋の歴史的価値が広がるようにとの願いが込められている

文化交流と憩いの場に



▲陸上競技場には照明やLEDを使用したスコアボードが備えられている



▲冷暖房が設置されているアリーナでは、スポーツやイベントなどを年間を通して快適に楽しめる

2月14日、愛宕山地区の絆スタジアムに隣接した陸上競技場エリアで、関係者を対象に施設内覧会が行われました。

エリア内の陸上競技場やアリーナを備えたロータスカルチャーセンターの内覧に先立ち、福田良彦市長は「想像以上に立派な施設。市民や日米の交流の場にしてほしい。また運動施設ではさまざまな記録を出す場になれば」とあいさつしました。

陸上競技場は市内初となる400mトラックを8レーン備

愛宕山地区陸上競技場エリア施設内覧会

え、人工芝のインフィールドはサッカー場としても利用できます。内覧会では市出身で日本体育大学陸上競技部の君嶋愛梨沙選手がトラックを試走し「環境も良く、競技者目線からしても良い競技場」と話しました。

その他ロータスカルチャーセンターの2階には本格的な茶室を設ける和室もあり、文化交流や市民憩いの場となるように、今後一日も早い供用開始を目指していきます。

拠点整備推進課 ☎5164